



運河と町並み

横浜と大阪・ロンドン

『シンポジウム』

■日時:2026年 **3月14日** (土)

14:00~18:00 / 開場:13:40 **[要事前申込(裏面)]**

■会場:横浜市開港記念会館1号室

■主催:神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター

■共催:横浜市開港記念会館

■お問い合わせ:神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター

住所:〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1

TEL:045-481-5661(代) 内線(3533) / mail:himoji-info@kanagawa-u.ac.jp



【開催趣旨】

運河は自然河川と異なり、人間の手により造成されたものであるが、そこには造成に携わった人間の意図やそれを必要とした社会の要請が込められている。横浜の運河もその例に漏れないが、運河が社会・人間に提供した機能・利益は時代に応じて異なっていることから、その地域的な観点のみならず歴史性も意識した理解が必要とされる。本シンポジウムでは、横浜や大阪・ロンドンの運河について講演・報告を行い、またパネルディスカッションでの討論を通じて、多角的な視野から運河の実像に迫っていく。

【プログラム】

□趣旨説明 内田青蔵

□講演 飯塚公藤（近畿大学総合社会学部教授）
「河川・運河における舟運利用
ー水都大阪・ロンドンを事例に」

□講演 内田青蔵（神奈川大学建築学部特任教授）
「横浜の建築史と橋のデザイン」

□報告 松本和樹（横浜都市発展記念館調査研究員）
「非文字資料としての高木写真」
中林広一（神奈川大学国際日本学部准教授）
「図像・絵地図の中の運河」
山口太郎（神奈川大学国際日本学部准教授）
「運河沿いの建物とその変遷」

□パネルディスカッション

・コメンテーター

金丸壽男（非文字資料研究センター研究協力者）

・司会 姜 明采（神奈川大学建築学部特別助教）

■参加費：無料

■要事前申込（定員100名）

・申込み方法：参加希望者は右のQRコードよりお申し込みください。

・申し込みの締め切り日／3月12日（木）

＊お申し込みの際にいただいた個人情報はシンポジウムの実施・運営のみに使用いたします。

■会場：横浜市開港記念会館 1号室

〒231-0005 横浜市中区本町1丁目6番地

＊当施設に駐車場・駐輪場はございません。



申込み用
QRコード

